

堀切地区まちづくりニュース

平成 20 年 3 月

発行：堀切地区まちづくり検討協議会



堀切地区まちづくり検討協議会、まちづくり勉強会 平成 19 年度活動報告
堀切地区のまちづくりについて、「防災」「地域活性化」「橋梁架替」の3グループで検討を行いました！！



堀切地区まちづくり検討協議会、まちづくり勉強会は、住民の皆さんが自らまちづくりを実践していくために、昨年度（平成 18 年度）に立ち上げられた組織です。

2 年目となる平成 19 年度は、「災害に強いまちづくり」「地域活性化まちづくり」「橋梁架替とまちづくり」の3グループにわかれ、まちづくりの具体的な取組み課題等を検討しました。

平成 19 年度

防災

地域
活性化

橋梁
架替

3グループにわかれ、「整備イメージ」や「取組みアイデア」等を抽出し、整理しました！
検討結果は2, 3ページをご覧ください。

今後は...

こうしたイメージやアイデアが実行可能なのか、効果的なのかを検証し、アイデアを実現していく具体的な手法を検討していきます。

仮称)住民まちづくり提案の作成

平成 20 年度の主な取組み

勉強会の主な取組みとして、以下の2つを実施！！

1. 「しょうぶまつり」で、平成 19 年度の検討成果を展示・PR します！
2. まちづくりの先進地の見学会を行います！

さらに、上記の取組みと並行して「防災」「地域活性化」「橋梁架替」の3グループで検討を継続！！

「堀切地区まちづくり勉強会」にぜひご参加ください！

勉強会の活動に興味のある方、参加をご希望の方は、気軽に事務局までお問い合わせください。(連絡先は、4 頁下参照)

堀切地区まちづくり勉強会の検討成果の報告！！

<平成 19 年度のまちづくり勉強会>

堀切地区まちづくり勉強会は、より多くの地域住民の参加を得て、堀切地区のまちの現状や課題を勉強しながら、これからのまちづくりのあり方について、いろいろな意見を出し合う場として、昨年度から開催しています。

今年度は、3テーマにわかれて具体的な取り組み課題等の検討を行い、まちづくりの「イメージ図」や「アイデア集」を整理しました。

まち歩きワークショップでは、現場で具体的なアイデアを確認しました！



9月	第4回検討協議会 19年度の検討テーマ等の確認
10月	第5回勉強会 勉強会の趣旨等の確認、グループ分け
11月	先進地事例視察（墨田区一寺言問地区）
	第6回勉強会 先進地事例視察の報告会
12月	第7回勉強会 まち歩きワークショップ
1月	第8回勉強会 テーマごとのまとめ作業
2月	第9回勉強会 各グループの検討成果の発表会
3月	第5回検討協議会 19年度の勉強会の検討成果報告

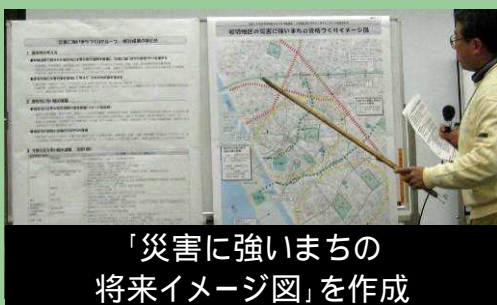
<テーマ別 検討成果の概要>

「災害に強いまちづくり」グループ

災害時に、避難場所や公園・広場への安全な避難路となり、消防活動や物資輸送等を行う緊急車両等も通行可能な「防災道路」を、幹線道路で囲まれた密集地域内に整備することを優先課題と考えました。それを踏まえ、優先的に整備したい「防災道路」を骨格とした「災害に強いまちの将来イメージ図」を作成しました。



検討の様子



「災害に強いまちの将来イメージ図」を作成

防災まちづくりの基本的な考え方

- ・ 幹線道路で囲まれた地区内に主要な防災道路を整備し、災害に強いまちの骨格づくりを進める
- ・ 震災対策と水害対策を整理して考えて、それぞれ対策を進める

優先的に取り組みたいこと

- ・ 地区内の主要な防災道路の優先整備
- ・ 地区内の道路と空地のつながりの確保（抜け道確保、行き止まりの解消、道路と空地のネットワーク化）

「地域活性化まちづくり」グループ

「どうすれば堀切地区が元気になるのか？」をテーマに検討をはじめました。堀切に住んでいる人、外から堀切を訪れる人、どちらも楽しめるまちにすることが大切であると考えました。今回は、地域の関心が特に高い[駅周辺～堀切菖蒲園]の間を取り上げて、20個の具体的な活性化アイデアを、実施場所、実施主体を含めて検討しました。



検討の様子



活性化策を整理した
「活性化アイデア集」を作成

地域活性化まちづくりの基本的な考え方

- ・堀切に住んでいる人、外から堀切を訪れる人、どちらも楽しめるまちにする
- ・核となる取組み、個々の住民や商店を元気づけていく取組みを考える

地域活性化のポイント

- [まち・通り] 歩きやすく、わかりやすく
- [駅周辺] 再開発を考えてみては
- [菖蒲園] 堀切の核として有効活用を
- [商店街] 個店や商店街の魅力づくり
- [イベント] 住民が楽しめるイベントを
- [情報発信] 堀切の紹介やPRを

「橋梁架替とまちづくり」グループ

国土交通省が計画している「京成本線荒川橋梁架替事業」は、いまの堀切地区にとって最も具体性のある取組みです。その機会をうまく活かして堀切地区が抱える様々な問題を解決し、良好なまちづくりにつなげていくためには、住民として何を考え、どのような視点で取り組んで行けば良いのかを、駅周辺の問題も含めて検討しました。



検討の様子



「橋梁架替を活かした
まちづくりイメージ図」を作成

橋梁架替(高架化)に伴うまちの検討課題

- ・駅前環境を改善したい(高架下を活用した車寄せの整備など)
- ・併せて、駅舎の一部改修(改札と車寄せをつなぐ、バリアフリー化など)が必要
- ・高架下や線路北側の緩衝空間を活用し、線路北側地区の道路網や、線路の南北を結ぶ道路のあり方などを考えたい

橋梁架替を活かしたまちづくりの視点

- ・いま考えること、将来考えること(線路跡地利用、駅前再開発など)を意識する
- ・線路南北の地区の住民と一緒に考える

先進地事例視察の報告！！

長年、住民主体でまちづくりに取り組んできた先進地区を見学し、関係者の話を聞くことで、堀切地区の将来像や具体的取組み、まちづくりの進め方等について考えていくため、先進地事例視察を実施しました。

実施日

平成 19 年 11 月 20 日 (火)

午後 1 時 ~ 4 時 30 分

視察先

一寺言問地区 (墨田区向島)

参加者

17人

一寺言問地区とは...?

地元 6 町会と住民有志が主導で 20 年以上にわたりまちづくりに取り組む地区です。

行政の呼びかけによる防災まちづくりに端を発したが、事業終了とともに住民組織が自立し、テーマも防災に限らず、まちの活性化や少子高齢化対策など多様な広がりを見せ、住民によるまちの総合マネジメントを展開しています。

視察会当日の行程

一寺言問集会所にて、一言会メンバーによる説明を受けたあと、一言会の案内で地区を見学しました。



視察前に「一言会」の方から、まちづくりの経緯をお話しいただきました。



震災時に停電しても、手動のポンプで水がくみ上げられる「路地尊」。地域の防災のシンボルとなっています

一言会の方にお話いただいたことを紹介します (抜粋です)

細い道だからこそのコミュニケーションを活かしたまちづくりを目指した。

シンボルとしての「路地尊(ろじそん)」、地域情報を共有するための「瓦版」路地尊や広場の維持管理は全て住民がやっている。それがまちづくりだと思う。

新しい力が入ってこないともちは元気になれない。防災に拘らない取組み。

「まちづくり」は、「人づくり」。楽しめなかったらやれないし、続かない。

まちづくり = 「俺はいいまちに住んでいるんだなあ」という思いをできるだけ多くの人に持ってもらえるまちにすること。

~ 堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、以下にお願い致します ~



堀切地区まちづくり検討協議会 事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課 (加藤、石田、浅野)

電話 03-3695-1111 (内線 2508)